

部活動数削減なら
区域外通学希望増

坂井市教育長が認識

坂井市総合教育会議の
本年度第2回会合が18
日、市役所で開かれた。
川元利夫教育長は、児童
生徒数の減少や教員の働
き方改革によって部活動
数が削減された場合、区
域外の学校へ通学を希望
する生徒が増える可能性
があるとの認識を示し
た。

坂本憲男市長と川元教
育長、市教育委員4人が
出席した。

川元教育長は、同会議
で示された2024年度
までの同市の児童生徒数
の推計や、県教委の働き
方改革の方針を受け、部



新年度の市教委の主要
事業などについて協議
した坂井市総合教育会
議 18日、同市役所

活動数が将来的に現在の
3分の2程度になること
も考えられると指摘。「生
徒が住む地域の中学に希
望する部活動がない場
合、他地域の学校に通う
区域外指定が今後、多く
なる可能性がある」と話
した。

会議では、小中学校の
情報通信技術（ICT）
環境整備など、新年度の
主要事業について協議し
た。
（小島茂生）